

# MARTIN FRIEDMAN

ROCK界のレジェンドが  
クラシックホールでピアソラに挑む!



三浦 一馬



曾根 麻央

## 曲目

- リベルタンゴ(ピアソラ)
  - 鯨(ピアソラ)
  - アディオス・ノニーノ(ピアソラ)
- 他、順不同

※曲目は変更になる場合があります。

# マーティン・フリードマン

Feat. 三浦一馬・曾根麻央

Plays Piazzola And More Concert Hall

令和8年 **6月21日** 開場/13:30 会場: 坂東市民音楽ホール  
開演/14:00

全席指定

当日券同額

チケットプレイガイド

**4,000円**

- ◆ LINE 電子チケット 4月3日(金) 午前9時~ (以降24時間受付)
- ◆ 坂東市民音楽ホール窓口 4月4日(土) 午前9時~ TEL 0297-36-1100
- ◆ 坂東郷土館ミュージズ窓口 4月4日(土) 午前10時~ TEL 0297-44-0055、0280-88-8700



※未就学児の入場はご遠慮ください。※遠方の方で現金書留による郵送購入を希望される場合は、4/5から市民音楽ホールへお電話でお申し込みください。  
※前売券が完売した場合、当日券の販売はございません。

主催: 坂東市文化振興事業団

問合せ先 坂東市民音楽ホール 〒306-0631 茨城県坂東市岩井 5082 番地 TEL 0297-36-1100

# Profile

## マーティ・フリードマン

### Marty Friedman

- 出身：アメリカ ワシントン D.C
- 趣味：日本語の勉強、旅行
- 好きな食べ物：チョコレート、激辛フード

CACOPHONY等のバンド活動を経て1990年MEGADETHに加入。全世界でアルバムがメガセールスを誇るスーパーバンドへと導き、全盛期を支え、世界中に熱狂的なファンを持つギタリストとなる。

ライブツアーで来日を重ねるうち日本通となり、ワールドツアー中に通信教育で日本語を学ぶ。

「MEGADETH」脱退後、2004年に活動拠点をアメリカLAから東京新宿へ移す。

2005年～伝説のロックバラエティー番組「ヘビメタさん」(テレビ東京)にメインMCとしてレギュラー出演。国内のヘビメタルファンだけではなくYouTubeを通して世界のヘビメタルファンを驚愕させる。2007年～放送、続編「ROCK FUJIYAMA」は現在でもYouTubeを通して世界各国で反響は続いている。

2006年～2008年日本鉄鋼連盟イメージキャラクターとなる。

その後、NHK、民放各局のテレビ番組への多数出演、雑誌・新聞での連載、2008年初著書「い~じゃん! J-POPだから僕は日本にやって来た」を出版しベストセラーとなる。同年映画「グーグーだって猫である」に出演し、小泉今日子と共演。スーパーギタリスト&日本好きの唯一無二の存在として才能を発揮しつつ、現在ギタリスト・作曲家・音楽プロデューサーだけに留まらず、国境・業界の枠を越え、イベント・テレビ・ラジオ・CM・映画に出演。

2017年文化庁から日本遺産大使に任命され、内外で日本を紹介する文化活動を行うなどマルチ・アーティストとして活動中!!

2023年2月27日、日本武道館で24年ぶりにMEGADEATHと共演。

## 三浦 一馬

### (バンドネオン)

2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。

2008年10月、イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。

2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。

2014年度出光音楽賞受賞。2010年9月NHK「トップランナー」に取り上げられ、再放送となる反響を呼ぶ。

2024年徹子の部屋に出演。テレビやラジオ出演も多数。

2017年、ドイツにてドグマ・チェンバーオーケストラとマルコーニ作曲の「カーメラタンゴス」で共演。

また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を新たに結成し、さらなる活動の場を拓いている。

また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。

2025年10月 ビクターより「バンドネオンシネマ」がリリース。

使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold

## 曾根 麻央

### (ピアノ、トランペット、作曲・編曲)

トランペットとピアノを自在に操る「ジャズ二刀流」として知られるマルチインストゥルメンタリスト。演奏家・作編曲家・プロデューサーとして国内外で幅広く活動している。パークリー音楽大学を学士・修士ともに首席卒業。ニューポートやモントリオールなど世界的ジャズ・フェスにも多数出演。

2022年には自身のバンドによるリーダー作『Brightness of the Lives』を発表し、ブルーノート東京などで成功を収めた。

2023年には初ソロ作『プレイズ・スタンダード』をリリース。作編曲・監修でも高い評価を受けており、Netflixシリーズ『さよならのつづき』(2024年公開)ではピアノ監修と劇伴制作を担当。

2025年には大阪・関西万博開会式にて演奏を務めた。

Plays Piazzola  
And More  
Concert Hall